

# インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第1回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題（テーマ）に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第1回実証試験では、島根県から提供されたニーズ「舗装の損傷状況の実態把握」に対して、民間事業者4社が自社製品やサービスの紹介を行った後に、島根県が管理する公道において試験走行を行い、舗装の損傷状況を調査し解析結果を説明しました。

■ 日 時：令和元年10月17日（木）13:00～17:00 ■ 場 所：島根県出雲合同庁舎  
 ■ 参加者：約50名【施設管理者：鳥取県、島根県、広島県、岡山県、出雲市、川本町、邑南町、三次市 23名/ 民間企業等：4社 等】

## ○開会挨拶・講評



フォーラムリーダー 藤井 堅  
（広島大学名誉教授）

## ○ニーズ提供者挨拶



島根県 土木部 技術管理課 管理監 池森 亨

## ○閉会挨拶

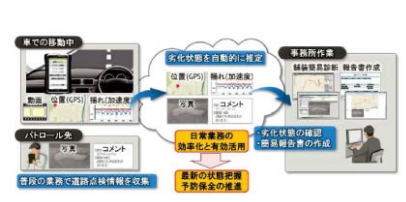


中国地方整備局 企画部 広域計画課長 山田 明

## ○自社製品やサービスの紹介 テーマ：「舗装の損傷状況の実態把握」に対して4社がプレゼンを行った



▲「路面損傷診断ツール」、「舗装ひび割れ解析サービス」：東芝インフラシステムズ(株)



▲「道路パトロール支援サービス」(株) 富士通交通・道路データサービス



▲「道路管理画像を用いた路面評価システム」：西日本高速道路エンジニアリング中国(株)



▲「道路監視レベルに応じた点検・診断・措置一貫システム」ニチレキ(株)

## ○使用機材等の説明や解析結果の説明



▲解析結果の説明や質疑応答の様子

▲各民間事業者からの使用機材等の説明の様子

## ○参加者の感想等

- 各会社の技術や特徴、これまでの実績について、具体的な説明があり、理解しやすかった。今後は各技術について、内部での検討を踏まえ、各社との相談を交えながら、導入に向けた検討を進めていくこととなる。（施設管理者）
- 各技術とも小型化されコンパクトに集約されており、非常に簡単に効率的な維持管理に活用できるのではないかと期待している。施設管理者毎にニーズを再確認し、簡易診断と精密診断の使い分けを行うことや、シーズ技術の改良を行うことで技術導入の促進が図られると思う（講評）



施設管理者が抱える  
維持管理の課題収集

ワークショップ  
(施設管理者と企業の意見交換会)  
H31.1.30 (松江)

ピッチイベント  
(課題を解決する技術の提案会)  
第1回：H31. 2.27 (広島)  
第2回：H31. 3. 4 (米子)

実用化を検証する  
実証試験  
第1回：R1.10.17 (出雲)

マッチング  
(社会実装)